



# けすぞう新聞

2025年3月発行  
NO.87  
播磨町消防団女性分団

## ◆◆神戸新聞に活動が掲載されました◆◆

2025年2月14日神戸新聞朝刊、地域版「東播」ページ

### コミカルな寸劇で防災啓発

「明るく、無理なく、楽しく」モットー



加古川市東消防署播磨分署にてインタビューを受けました。

神戸新聞社様(記者独断 推しのグループ)に、女性分団が取り組んでいる活動についてインタビュー記事を掲載していただきました。

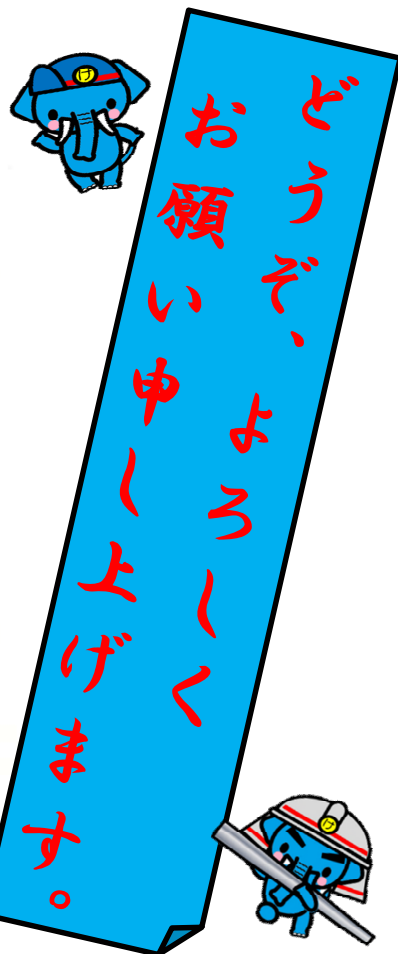
白皇姫を題材に人命救助の方法を伝える播磨町消防団女性分団のメンバー(同分団提供)



結成19年、播磨町消防団女性分団

播磨町消防団の女性分団は来年、結成20年を迎える。町内の幼稚園や保育園に通っていた子どもの「お母さん」たちが声を掛け合い活動を始めた。「明るく、無理なく、楽しく」がモットー。演劇や講演を通して、地域密着の防災情報を発信し続けている。(見玉美友)

記者独断 推しのグループ



「ぼうさい甲子園」フロンティア賞 講演や壁新聞発行も



2024年度の「ぼうさい甲子園」ではフロンティア賞を受賞した加古川市東消防署播磨分署

「まず呼吸の確認だ」「姫の胸や腹の動きを見て、小人さん呼吸を確認、10秒以内!」「呼吸しにくい!」すぐに胸骨圧迫!」舞台の上で、白皇姫を題材にした寸劇が繰り広げられる。「コミカルでテンポの良い掛け合いの中に、救急車が到着するまでに行える人命救助の知識を詰め込んだ。今回は清水ひろ子前町長が就任した2006年に、町内で女性の消防団への参画の機運が高まり結成された。当時のメンバーは18人。現在は40、60代の14人が在籍している。主な活動は啓発劇。「アドリブ満載でどんな会場でも笑いに包みます」と広報担当の宮西由貴

そうした地道な活動が2024年度、賞に結び付いた。全国の防災活動に取り組む学校や団体などを表彰する兵庫県の「ぼうさい甲子園」で、先進的な取り組みを進めたとして、フロンティア賞に輝いた。宮西さんは「求めてくれている人が地域にいます」と私たちの活動が続く、だから頑張ります」と力強い。同団では新たな団員も募集している。町内に住む女性なら誰でも参加できる。応募は町危機管理課(079-43351099)

~こちらの新聞記事については、神戸新聞社から掲載の了承を得ています。~

## 消防団員募集

地域の安心と安全を守るために、あなたにもできることがあります。

2006年に女性分団が誕生して19年、自然に世代交代が出来るよう、新メンバー獲得が課題となっています。みなさん、私たちと一緒に活動しませんか？

お問合せ 播磨町企画総務部 危機管理課  
電話番号:079-435-0991

播磨町「女性分団」

検索

私たちの活動、けすぞう新聞はこちら

